

活用ナビ

①【ねらい】日本の水産業が盛んな主な地域と主な水産物がわかる。

- ②●の題と出典を読みましょう。
- 資料の記号の意味を一つずつ確認しましょう。
 - ※暖流と寒流の意味について簡単に説明する。

- ③●暖流の近くの漁港を書きましょう。
- 暖流の近くで水あげされる主な水産物は何でしょうか。
 - ※地図から、それぞれ抜き出させる。
 - ※寒流についても同様に行う。

- ③●養殖のさかんなところで育てられている主な水産物は何でしょうか。
- ※「養殖のさかんなところ」の記号で場所を確認してから、水産物を書かせる。

- ③●水あげ量の多い漁港の位置と、海流とはどのような関係がありそうですか。
- ※予想で構わないことを伝える。

- ④●これから水産業について調べていきたいことを話し合しましょう。
- ※資料から読み取ったことをもとに考えさせたい。

5年-7

2-2 水産業のさかんな地域 さまざまな水産物を求めて

P82～P83

5年 組 番
名前

①【ねらい】日本の水産業が盛んな地域と水産物についてわかる。

- ②【基本】の題と出典を読もう。
- ・資料の記号の意味（左上）を一つずつ確認しよう。

- ③【ポイント】の資料について読み取ろう。
- ・暖流の近くの漁港を書こう。

銚子, 焼津, 枕崎, 松浦, 境

・暖流の近くで水あげされる主な水産物は何だろうか。

さば, いわし, まぐろ, かつお, あじ など

・寒流の近くの漁港を書こう。

石巻, 気仙沼, 八戸, 釧路, 根室, 網走

・寒流の近くで水あげされる主な水産物は何だろうか。

さけ, さんま, たら, いか など

・養殖のさかんなところで育てられている主な水産物は何だろうか。

のり, ぶり, たい, ほたて など

- ④●水あげ量の多い漁港の位置と、海流とはどのような関係がありそうだろうか。

・暖流と寒流がぶつかるところでは、二つの海流に生息する魚がとれるので、水あげ量が多いのではないか。

・太平洋には黒潮と親潮が流れ、水あげ量の多い漁港が多いのではないか。

- ④●これから水産業について調べていきたいことを話し合おう。

資料の読解

この資料には、日本の水産業に関わる以下の情報が載っている。

- ・ 日本の主な漁港とその水あげ量
- ・ そこでとれる水産物の種類・養殖のさかんなところとそこで育てられている主な水産物
- ・ 日本周辺の海流
- ・ 暖流と寒流でとれる水産物の種類

情報が多い分、細かく部分的に読み取っていくことが大切になってくる。まずは、記号が表す意味を確認するところから始め、その記号に沿ってわかることを増やしていくようにする。たとえば、暖流の流れを確認し、暖流の近くの漁港を抜き出させる。そして、それらの漁港でとれる水産物の種類を確認することで、「暖流でとれる水産物の種類と、主な暖流の近くの漁港」を理解できる。寒流でも同様の学習活動を行い、それらの情報をもとに水あげ量の多い漁港と海流との関係を考えさせるようにしたい。

読解の方法

- (1) 最初に題、出典、記号の意味を確認する。その際、暖流と寒流の意味についても、教師から説明をしたり、各種資料から意味を調べさせたりしておさえておく。
- (2) 次に暖流の近くの漁港と、水あげされる主な水産物を抜き出させ、ワークシートに記入させる。その作業により、じっくりと資料と向き合うことになる。寒流も同様に行い、それぞれの海流でとれる水産物の種類があること、日本では多くの種類の水産物がとれることを理解させる。
- (3) 養殖している主な水産物も抜き出させ、育てる形の水産業もあることを理解させる。
- (4) 以上のことを踏まえ、教科書の「やってみよう」にある「水あげ量の多い漁港の位置と、海流との関係」について考えさせ、理解を深めるようにする。